

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 18号)

平成30年 3月22日発行
 兵庫のみ研究所

まとまった降雨（気象庁アメダスより 3月19～21日雨量計：明石53.5mm）直後の調査でした。陸水の影響がみられた調査地点では栄養塩は高い値を示しており、江井ヶ島以西の海域で窒素は概ね2～3 μg at/L台でした。林崎新漁場東部以東から明石海峡周辺海域では、窒素は2 μg at/L前後で前回（3/13）調査と比較し減少しています。この海域西部沿岸域周辺においてユーカンピアや小型のキートセロスが確認されますが、全般に珪藻の発生量は少ない状況です。

(水温) 漁場内平均9.0℃。平年、昨年比とも1.1℃低い。**(塩分)** 平均31.62psu。ほぼ前回調査(31.69)と同値。

(栄養塩、珪藻) 二見漁場以西の海域でユーカンピアや小型のキートセロスが見られたが、発生量は前回調査と比較し大きな増加はなく全般に少ない。それ以東の海域ではタラシオンラやスケルトネマ等がわずかに確認される程度であった。大阪湾全般に栄養塩濃度が低調であることから明石海峡周辺海域の窒素も低い状況にあるが、この度のまとまった降雨（神戸～大阪の各地区において45mm前後）により大阪湾全体の栄養塩の底上げならびに、大阪湾から流入する海水の栄養塩上昇に期待したい。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	8.8	9.0	10.1	10.1
窒素	4.6	3.6	3.0	2.5
リン	0.35	0.37	0.27	0.28

(3/13)

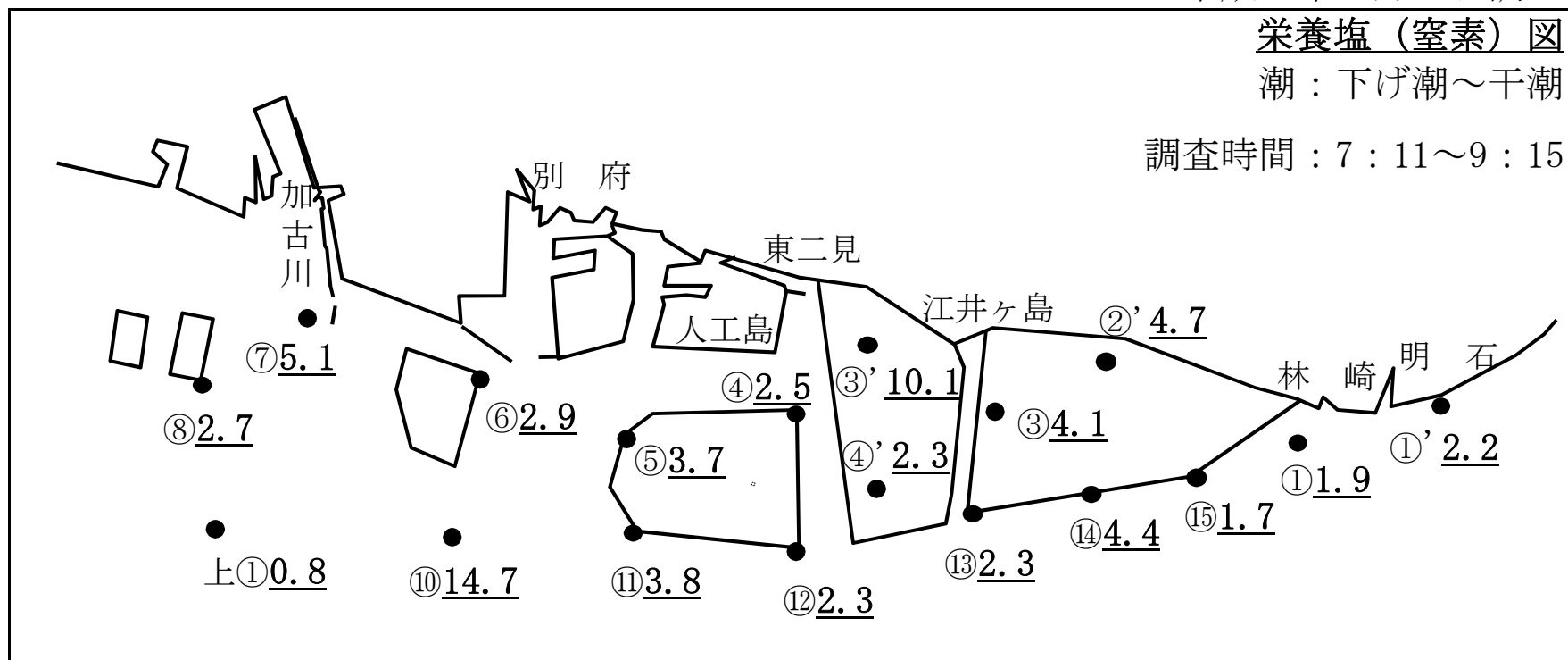
(3/24)

平成30年 3月22日調査

栄養塩（窒素）図

潮：下げ潮～干潮

調査時間：7：11～9：15



水温図

